



湊食堂限定の「湊めし」を買い求める来場者

## 駿河湾の恵みを味わい広げよう

## ■さがら湊食堂

市商工会産業活性化委員会主催の「さがら湊食堂」が10月30日、相良港で開催されました。

湊食堂には、市内の飲食店など約20ブースが並び、サワラのなめろう丼やしらす丼、マグロカツカレー、カニ汁うどんなどの「湊めし」が販売され、約4,000人でぎわいました。また、伊勢エビのみそ汁も約300食限定で振る舞われ、あつという間になくなるほど大好評でした。

来場者は、各ブース自慢の「湊めし」を買い求め、地元の海の幸を堪能しました。

## 宝くじ助成で備品を整備

## ■自治総合センターCommunity助成事業

地頭方区では9月、宝くじの社会貢献広報事業として、一般財団法人自治総合センターが行う「コミュニティ助成事業」を活用して、会議やイベントなどで使用する備品を整備しました。

整備した備品は、パソコンやプリンター、長胴太鼓、テント、テーブルなどです。

この事業により、会議や打ち合わせが円滑に見えるほか、子どもからお年寄りまで楽しめることができるイベントが快適に開催でき、地域に密着したコミュニティ活動の活性化が期待されます。



整備されたパソコンや長胴太鼓、テントなどの備品

## 日ごろの成果を披露

## ■第11回牧之原市文化祭 芸能発表会

10月9日、い～らで第11回市文化祭「芸能発表会」が行われました。

市文化協会会員による発表会で、総勢37組の個人や団体が出演し、歌やダンス、剣舞、吟詠、大正琴など、日ごろの練習の成果を披露。

市制施行10周年を記念して作られた市の歌「うみ・そら・みどり牧之原」に合わせた創作ダンスが披露されるなど、ステージを盛り上げました。

また、会場では花の苗木のプレゼントやお茶席、相良華道連盟の作品展示なども行われました。



市の歌「うみ・そら・みどり牧之原」の創作ダンスを披露

広報担当がどこにでも取材に行きます。

あなたの身近にあるホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。

秘書広報課 ☎052 230052 E-mail: seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp



## 国際舞台へ向け激戦繰り広げる

## ■ゴーセンカップ国際レディースオープンテニストーナメント

「ゴーセンカップ・スウェーデンビーチ牧之原国際レディースオープンテニストーナメント2016」が10月9日から16日まで、静波リゾートホテル・スウェーデンビーチで開催されました。

本大会は、女子テニス選手が国際メジャー大会へ出場するための登竜門となっています。

ダブルスは、沢柳璃子選手とケセニア・リキーナ選手（ロシア）ペアが優勝。

シングルス決勝では、ダブルスを制した沢柳選手とリキーナ選手のパートナー対決となりました。硬さがでた沢柳選手をリキーナ選手が圧倒し、ダブルスに続いてシングルスでも見事、優勝を飾りました。



ダブルスで優勝を決めた沢柳璃子選手とリキーナ選手

## さまざまな世代が福祉を語る

## ■第13回身近な福祉について語ろう

第13回「身近な福祉について語ろう」が10月3日、さざんかで行われ、中学生や大学生、民生委員、社会福祉協議会職員など約60人が参加しました。

「みんなが気持ちよく暮らすには」をテーマとした意見交換では、「あいさつな声掛けが重要」「できそうなことにチャレンジ」など、自らが取り組もうとする積極的な意見がありました。

参加した中学生は「世代の違う人たちと話し合いすることで得るもののがたくさんあった」などと感想を話しました。



さまざまな世代の人たちが福祉について語り合う



## 身边に感じる健康と福祉

## ■さざんかふれあい広場2016

さざんかふれあい広場が10月2日、さざんかで開催されました。

健康や福祉に理解を深めてもらい、子どもや高齢者、障がい者など地域住民の誰もが楽しんでもらえるよう、市社会福祉協議会が毎年開催。

会場では福祉やボランティア団体などがブースを出店し、活動のPRや体験コーナー、飲食物の販売が行われたほか、川崎幼稚園の園児によるマーチングバンドやはいばら太鼓の迫力ある演奏なども行われ、多くの来場者でぎわいました。